ロシア語通訳協会関西支部

楽しく学ぼう日本史講座 SEASON2
「知れば知るほど、日本近現代史」

第３回

「明治」は輝いていたか？―
「矢継ぎ早」の改革から「日清戦争」まで

「版籍奉還」「廃藩置県」「学制改革」「徴兵令」「地租改正」「憲法発布」…明治政府の改革はまさに「寝る間も惜しむ、矢継ぎ早」の改革でした。

その間、改革についていけず、「置いてけぼり」になった人や「旧制度にしがみつく」人々がいたこともＴＶの「西郷どん」で描かれる通りでしょう。

はたして、明治は本当に輝いていたのでしょうか？それとも、森鴎外が言うような「普請（ふしん）中」のままだったのでしょうか？一緒に考えてみましょう。

日時：　12月23日（日曜日）

14：00 ～ 17：00

講師：　加藤学さん

場所：　日本ユーラシア協会大阪府連会議室

参加費：　一般・通信会員　1500 円
　　学生・会員　　1000 円

申込先　関西支部事務局

※資料準備の都合で、前日までに
　参加の連絡をお願いします。

e-mail: apr_kansai@yahoo.co.jp

講師プロフィール

加藤 学氏

愛知県出身

通訳案内士（ロシア語、英語）
ロシア語通訳協会正会員

【学歴】

山形大学人文学部
（日本史専攻）卒
在学中にロシア語の勉強を始める。

【職歴】

約20年間、名古屋の私立高校で社会科を教える
7年間、農業団体で養豚や野菜販売に従事
その後、警備員を経て社会科教師に復帰
持ち前の社会科の知識を生かしてクイズ「**アタック25**」に優勝、フランス旅行獲得
定年まで、約10年、学童保育の責任者を努める

40年前、「まんが日本史」を自費出版し、
「わかりやすい・面白い」をモットーに誰もが興味を持てる歴史授業を常に追求中